

目黒区内主要駅で  
朝・夜 活動してます！  
お気軽にお声がけください。



1/14 市民をつなぐ党シンポジウム  
「脱コロナと改憲反対」



3/4 市民がつくる政治の会の  
皆さんと味噌づくり体験♪



2/18 zoomお茶会の様子



## 後谷ちほプロフィール [www.chihoushirodani.com](http://www.chihoushirodani.com)

うしろだにちほ 1977年 兵庫県芦屋市生まれ、武庫川女子大学附属中高短大卒、明治安田生命保険(相)を経てエステサロン会社経営歴20年、美肌研究家。資格:栄養士、薬膳アドバイザー、内海式薬害研究センター認定セラピスト、CIDESCOインターナショナルエステティシャン。  
血液型: AB型。星座: さそり座。動物占い: 黒ヒョウ。趣味: 料理研究。特技: 歌って踊ること。

\\ 応援弁士内海 聡 来たる!!! \\



4/20(木)・4/22(土)

内海 聡 市民をつなぐ党 事務局長 元農林水産大臣・弁護士 山田 正彦



※18:00開始を予定しています。  
場所の詳細は公式LINEで  
ご確認ください

私たちが  
応援しています

日野市議会議員 池田 としえ  
鎌倉市議会議員 長嶋 竜弘  
前橋市議会議員 入澤 繭子



市民をつなぐ党

めぐろにみらいの  
たねをまく

うしろだに  
後谷ちほ

**2023年4月号** 目黒区政に挑戦するため、政治活動をしています。区民のみなさんから直接お声掛けを頂くことが増えてきました。会社経営をしながら培ってきた人間関係とは全く違う刺激があり、「政治というのはみんなで作っていくもの」なのだということがわかってきたように思います。それくらい政治初心者の私ですが、自ら企業経営してきたからこそ、区民と区政の感覚のズレを区民側の目線で見ることができると自負しています。私達の生活に密接に関わる目黒区議会議員選挙が近づいてまいりました。この選挙をきっかけとして、私と一緒に目黒区政をよりよくしてまいりましょう。

**目黒区議会議員選挙は、4/23(日)が投票日です**

※期日前投票・不在者投票は4/17(月)~4/22(土)

市民による市民のための健全な政治づくり

# 区民による区民のための健全な政治づくりを目指します！

めぐろに  
みらいの  
たねをまく

## 政策1 コロナ禍からの卒業

2020年から本格化した新型コロナウイルスによる社会の混乱。あらゆる対策や行政判断が「緊急事態」という言葉で正当化されていたように思います。感染症対策として講じた政策の結果を検証し、次世代のための教訓にしていきます。

- ・新型コロナ感染症対策の抜本的見直し
- ・コロナワクチン被害者救済窓口の設置
- ・ワクチンハラスメント、マスク強要の実態調査から防止へ



## 政策2 未来を担う子どもがのびのび育つ区に

いつの時代にも、子どもたちの存在は大きなものです。若いということは可能性であり、我々大人はその若芽に手をかけすぎることではなく、生命力のままに育つよう応援します。

- ・学童保育の待機児童問題を解消
- ・教育カリキュラムの見直し、学びの選択肢の拡大
- ・自由に遊ぶ冒険あそび場（プレーパーク）の設置提案
- ・高齢者の知恵を子どもたちに伝える交流の場を企画



## 政策3 食の「安全」を守る

現在日本においては、危険な農薬の残留基準が海外と比較して緩い状況になっています。区民が安全な食品を入手できる環境をつくるには、区政が動かなければなりません。目黒区民の食の安全を守る条例づくりに積極的に取り組みます。

- ・危険な農薬を使わない農作物を使ったオーガニック給食の実現
- ・化学肥料や農薬に頼らない農作物を使用する飲食店、小売店の支援
- ・遺伝子組み換えやゲノム編集、昆虫食など、特に新しい食品に対しては目黒区独自の規制を設定



住み良い目黒  
をつくります！

- ・地域の防犯防災力の強化・緑地化推進
- ・公園トイレの整備・放置自転車ゼロ・駐輪場の整備
- ・ゴミ、食品ロス削減・空き家管理、利活用の推進

皆さんは、ベトナム戦争で大量に使われ、奇形児の子どもをたくさん産んでしまった“枯葉剤”をご存知でしょうか？現在、その枯葉剤と同じ機能を持つグリホサートが除草剤として、日本のホームセンター等で販売されており、小学校や公園でも使われています。アメリカでは学校の校庭に同成分の除草剤を使用していた用務員が、後のがんを発症。がんの原因は除草剤であるとし、販売会社を訴え勝訴しました。このニュースをきっかけに世界中でグリホサートの危険性が認識され、使用を禁止する国も出てきました。日本では報道されることなく今も使用が続けられています。実は、グリホサートという成分に耐性を持ち、育つことができるのが遺伝子組み換え食品です。遺伝子組み換え食品と、危険な農薬はセット売りという契約になっています。だから、遺伝子組み換え作物は危険なのです。にもかかわらず、農林水産省は遺伝子組み換え食品の表示を実質非表示にすることを決めました。

子どもが健康で元気でいる為に最も重要なのは、食だと考えます。しかし、残念ながら、現在の学校給食には遺伝子組み換え作物由来の食品が多数含まれており、決して安全とは言えない状況です。このような環境の中、子どもたちの食を守っていくためにはどうしたらよいのでしょうか。国や都が危険な農薬及び遺伝子組み換え食品を排除しないのであれば、区がそれをするしかありません。まず、1人でも多くの親御さんに学校給食の実態を知って頂き、区の条例で危険な農薬を使わない作物を用いたオーガニック給食を推進していきたいと考えております。

残念ながら、全国の農家でもオーガニックは0.6%、自然栽培は0.01%以下しかありません。目黒区が自然栽培農家と提携し安定した買い手になることで、有機農家の所得が安定化します。そうなれば、有機農家さんも国内で増えていくと考えられます。

私は、オーガニック給食を進めることで、子どもたちに安全な食を残していけると考えます。食の安全な区、目黒区を実現するため行動して参ります。

後谷 ちほ

## 【後谷ちほの基本方針】

- ・消費税減税・原発反対
- ・危険な農薬反対・自民党改憲草案反対

